

# 第 24 回日本痴呆学会学術集会プログラム

会長 森 啓

大阪市立大学大学院医学研究科 老年医科学大講座 脳神経科学

開催日: 平成 17 年 9 月 30 日(金) ~ 10 月 1 日(土)  
会 場: WTC コスモタワー (大阪ワールドトレーディングセンター)

## 目次

会場へのご案内	.....
学会参加者へのお知らせ	.....
プログラム	.....
抄録	
シンポジウム	.....
シンポジウム	.....
シンポジウム	.....
シンポジウム	.....
ランチョンセミナー	.....
サテライトシンポジウム	.....
会長講演	.....
一般演題(ポスター)	.....

## 第 24 回日本痴呆学会学術集会事務局

大阪市立大学大学院医学研究科 老年医科学大講座 脳神経科学  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3  
Tel: 06-6645-3921 Fax: 06-6645-3922

## WTC コスモタワー (大阪ワールドトレーディングセンター)

〒134-0091 大阪市住之江区南港北 1-14-16  
Tel: 06-6615-6005  
(学術集会に関するお問い合わせは学術集会事務局にお願いします)

## 会場へのご案内

### 交通

地下鉄トレードセンター前駅から徒歩2分

●地下鉄四つ橋線ご利用の場合

地下鉄四つ橋線「住之江公園」→ニュートラム「中ふ頭駅」下車

●地下鉄中央線・トランスポートシステムご利用の場合

地下鉄中央線「大阪港駅」→テクノポート線「コスモスクエア駅」(直通)  
→ニュートラムテクノポート線「トレードセンター前駅」下車

■関西国際空港からリムジンバスで約45分

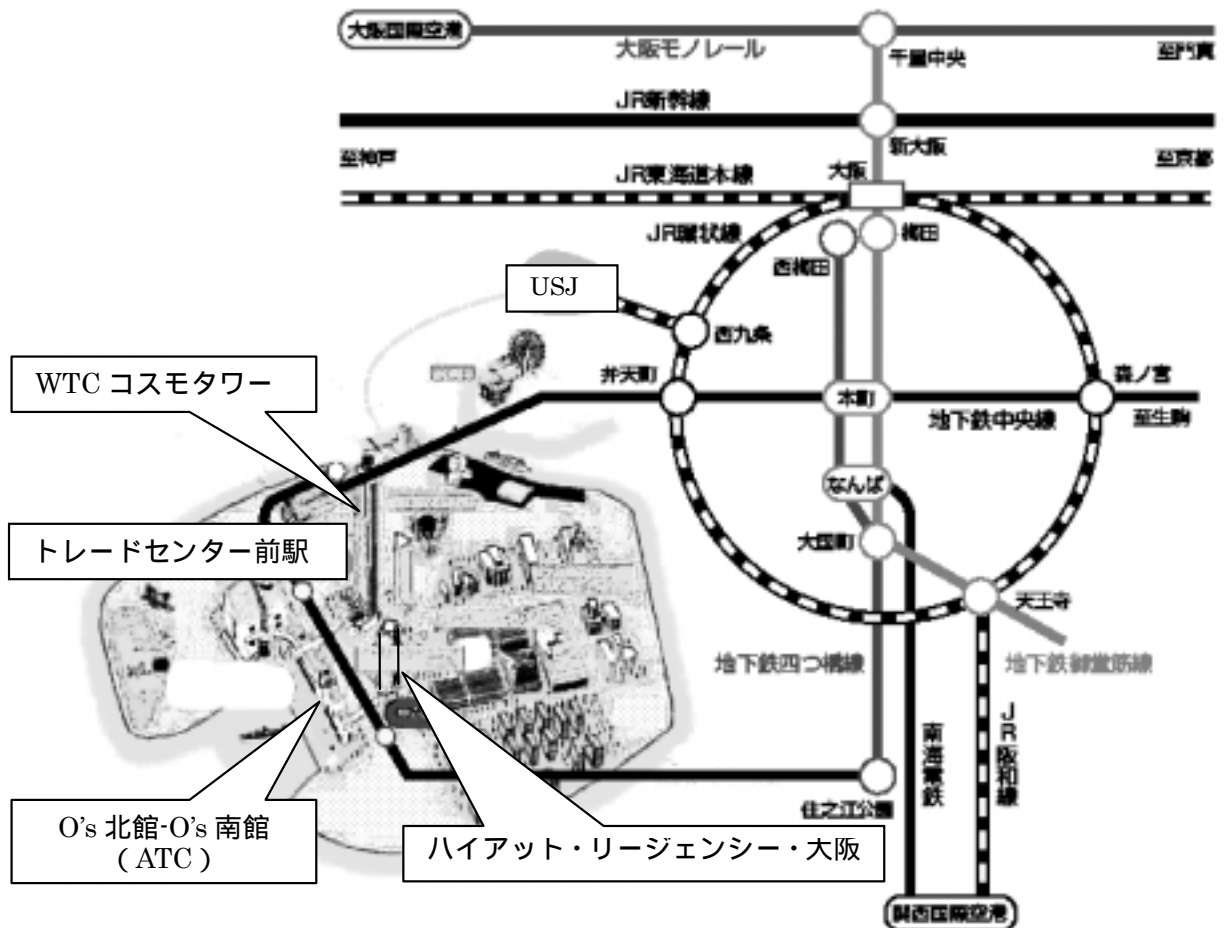
■大阪国際空港から自動車で約40分

■本町から地下鉄・OTSで約15分

■新大阪から地下鉄・OTSで約33分

■なんばから地下鉄・OTSで約40分

### 会場周辺地図



## 宿泊ホテルのご案内

このたび大阪WTCにて9月30日(金)～10月1日(土)の2日間「第24回日本痴呆学会学術会議」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

会議ご参加者の宿泊等を近畿日本ツーリスト・関西イベント・コンベンション支店が担当させていただくこととなりました。つきましては、会場への交通の便利なホテルをご案内させていただきますので、多数の皆様のご利用を心よりお待ちしております。

### 宿泊ホテルのご案内

ホテル	部屋タイプ	料金	会場までの所要時間 (電車待ち時間除く)	Check In / Out
<b>ハイアット・リージェンシー オーサカ</b>  〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-13-11 TEL:06-6612-1234 FAX:06-6614-7800	シングル	17,850円	4分 (南港ポートタウン線) 中ふ頭駅 トドセンタ前駅	In 14:00 Out 12:00
	ツイン2名利用	10,500円		
<b>住之江ホテル阪神</b>  〒559-0024 大阪市住之江区新北島1-2-1 TEL:06-6681-1661 FAX:06-6681-2114	シングル	7,875円	18分 (南港ポートタウン線) 住之江公園駅 トドセンタ前駅	In 14:00 Out 11:00
	ツイン2名利用	6,825円		
<b>ルートイン大阪本町</b>  〒550-0005 大阪市西区西本町2-6-6 TEL 06-6534-8211 FAX:06-6534-8311	シングル	6,800円	27分(乗換時間含む) (市営地下鉄中央線) 阿波座駅 コスモスクエア駅 (南港ポートタウン線) コスモスクエア駅 トドセンタ前駅	In 15:00 Out 10:00
	ツイン2名利用	5,500円		
<b>ホテルスボール住之江</b>  〒559-0024 大阪市住之江区新北島5-1-50 TEL:06-6682-1101 FAX:06-6683-1181	シングル	6,700円	23分 (南港ポートタウン線) 住之江公園駅 トドセンタ前駅	In 15:00 Out 11:00
	ツイン2名利用	5,650円		
<b>ニューオリエンタルホテル</b>  〒550-0005 大阪市西区西本町2-6-10 TEL:06-6538-7141 FAX:06-6538-7140	シングル	6,300円	26分(乗換時間含む) (市営地下鉄中央線) 阿波座駅 コスモスクエア駅 (南港ポートタウン線) コスモスクエア駅 トドセンタ前駅	In 15:00 Out 10:00
	ツイン2名利用	5,145円		

### 各ホテル最寄り駅へのアクセス

ホテル名	最寄り駅
ハイアット・リージェンシー・オーサカ	ニュートラム中ふ頭駅より徒歩2分
住之江ホテル阪神	地下鉄四つ橋線住之江公園駅より徒歩1分
ルートイン大阪本町	地下鉄中央線阿波座駅より徒歩2分
ホテルスボール住之江	地下鉄四つ橋線住之江公園駅より徒歩5分
ニューオリエンタルホテル	地下鉄中央線阿波座駅より徒歩1分

### 【お申し込み・お問い合わせ先】

〒541-0042 大阪市中央区今橋2-4-10 大広今橋ビル3階  
 近畿日本ツーリスト(株) 関西イベント・コンベンション支店  
 「第24回日本痴呆学会学術集会」係  
 FAX:06-6202-7921 TEL:06-6202-0224  
 E-mail: [eckansai@or.knt.co.jp](mailto:eckansai@or.knt.co.jp)  
 営業時間:月曜~金曜 09:15~18:00(土・日・祝祭日は休み)

## 学会参加者へのお知らせ

### 1. 参加登録

日 時：9月30日（金）8時30分～17時  
10月1日（土）9時～17時

場 所：WTC コスモタワー 2階ホワイエ（WTC ホール）

学会参加費：5,000 円

- \* 釣り銭のないようにお願いいたします。
- \* 領収証付参加証をお渡しいたしますので、会場内では必ず胸にお付けください。
- \* 一般の方、企業の方、報道関係の方の参加も受け付けます。

### 2. 抄録集（日本痴呆学会誌 Dementia Japan Vol.19 No.2）

会場でも販売いたしますが（1冊 3,000 円）数に限りがございますので、会員の方は必ずご持参ください。

### 3. あり方委員会

日 時：平成 17 年 9 月 29 日（木）15 時～16 時

場 所：ATC・O's 棟南館 6階 B1 会議室

### 4. 編集委員会

日 時：平成 17 年 9 月 29 日（木）16 時～18 時

場 所：ATC・O's 棟南館 6階 B1 会議室

### 5. 理事会

日 時：平成 17 年 9 月 29 日（木）18 時～20 時

場 所：ATC・O's 棟南館 6階 B1 会議室

### 6. 評議委員会

日 時：平成 17 年 9 月 30 日（金）11 時 50 分～12 時～40 分

場 所：WTC コスモタワー 48階 リコリス

### 7. 総会

日 時：平成 17 年 10 月 1 日（土）13 時 40 分～14 時 20 分

場 所：WTC コスモタワー 2階 WTC ホール

### 8. 演者へのお知らせ（ポスター）

#### 8-1. ポスター展示期間

- 9月30日（金）～10月1日（土）の2日間通して展示します。
- ポスターは9月30日（金）午前8時30分から10時40分までの間に、ポスター会場（44階大会議室）の指定された場所に貼ってください。10月1日（土）のみ参加の方は1日午前10時50分までに展示を完了させてください。

- 撤去は10月1日(土)のポスターセッション終了後、同日17時までに済ませてください。

#### 8-2. ポスター掲示板サイズ

演題名、所属、発表者名をヨコ70cm、タテ20cmで作成し、本文をヨコ90cm、タテ120cmで作成してください。演題番号は、事務局で用意します。

#### 8-3. ポスターセッション

日 時：9月30日(金)10時40分～12時10分(セッション )

9月30日(金)13時40分～15時20分(セッション )

10月1日(土)10時50分～12時20分(セッション )

場 所：ポスター会場(WTCコスモタワー 44階大会議室)

それぞれ以下の時間帯に、各自のポスター前で、発表と質疑応答を行ってください。

演題番号の末尾が奇数(例 - A1)の演者先生は各セッションの前半の30分、偶数(例 - A2)の演者先生は後半の30分を発表時間としてご使用ください。

9月30日(金)				10月1日(土)	
セッション / 10:40～		セッション / 13:40～		セッション / 10:50～	
演題番号	座長	演題番号	座長	演題番号	座長
- A1～6	西村	- A1～6	大河内	- A1～6	岩田
- B1～5	鈴木	- B1～6	東海林	- B1～5	道川
- C1～6	高島	- C1～6	浦上	- C1～4	岡澤
- D1～5	岩坪	- D1～6	羽生	- D1～6	村山
- E1～5	太田	- E1～6	高橋	- E1～5	鳥羽
		- F1～6	玉岡		

#### 9. ポスター発表座長の先生方へ

ご担当のポスターセッションでの演者の発表と参加者との質疑応答が円滑に進むよう御指導ください。

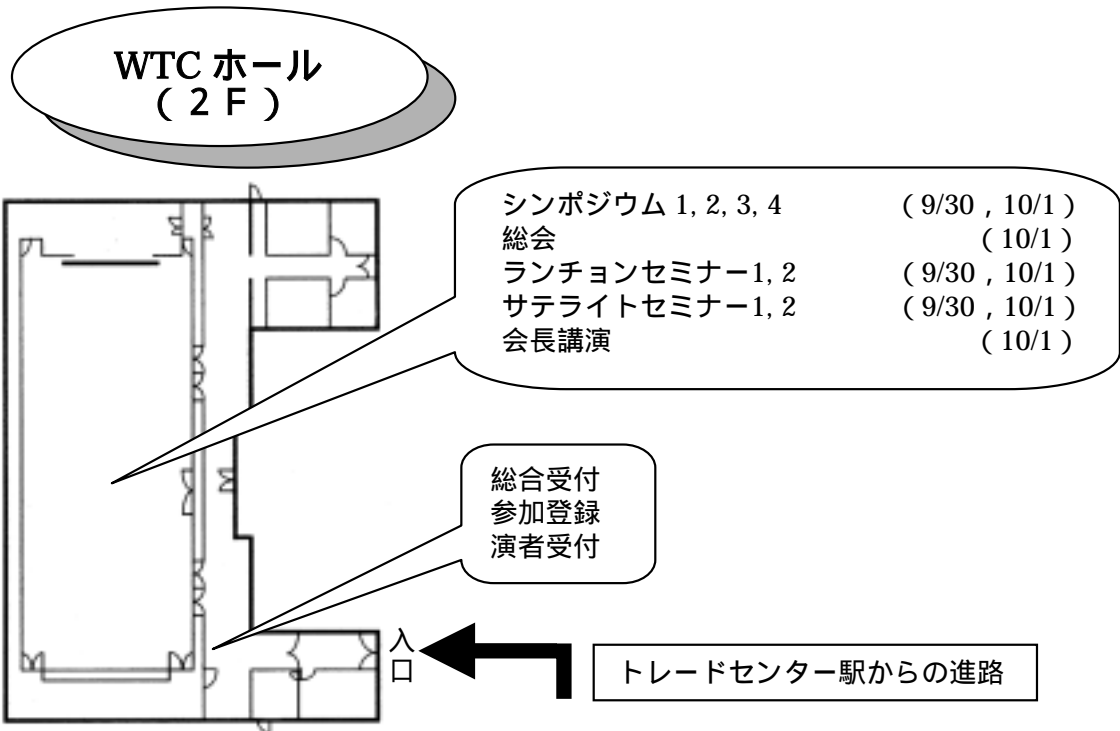
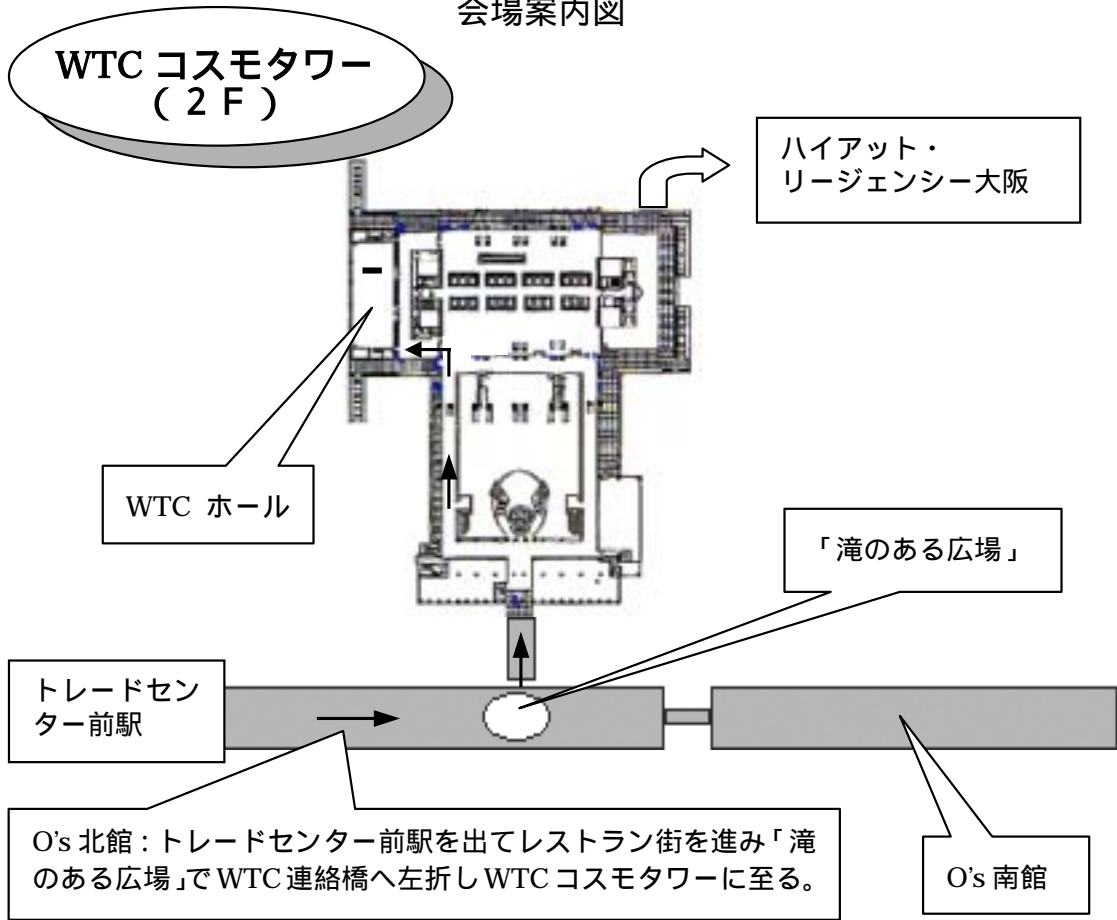
#### 10. シンポジストの先生方へ

- 44階小会議室(WTCコスモタワー)を用意しておりますので、座長先生と共に自由にご使用ください。
- 発表形式は液晶プロジェクターでPowerPoint(WindowsまたはMacintosh)のみとさせていただきます。
- データは、1. CD-R(ISO9660形式) 2. USBフラッシュメモリ(USBマス・ストレージクラス準拠のもの) 3. ご自分のコンピューターのうち、必ず2つ以上に保存してお持ちください。

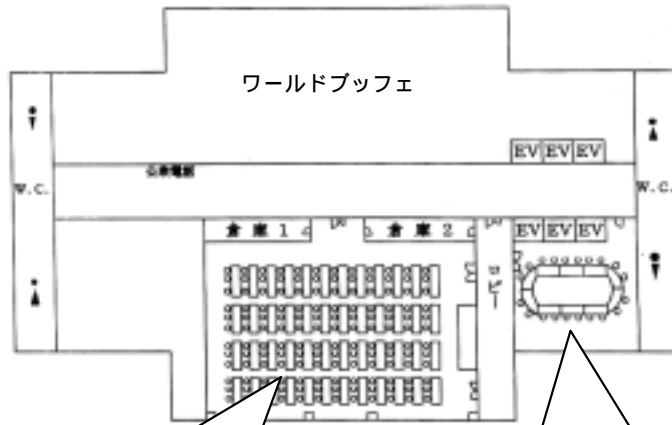
#### 11. シンポジウム座長の先生方へ

各シンポジウムの15分前までに2階ホワイエ(WTCホール脇)の演者受付にて座長受付をお済ませの上、次座長席にて待機していただきますようお願いいたします。

# 会場案内図



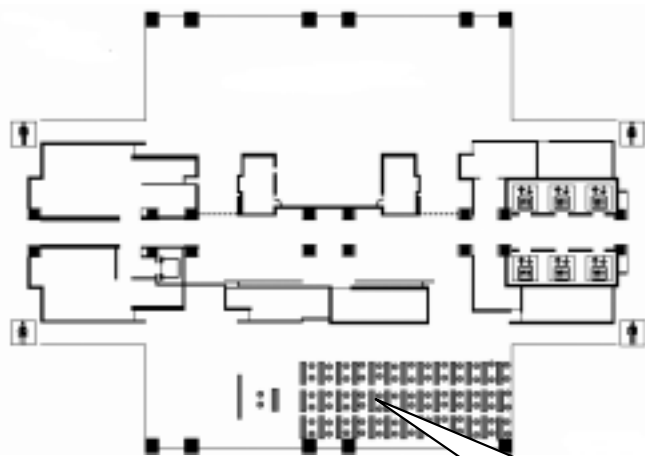
**WTC コスモタワー  
(44F)**



ポスター会場 (9/30,10/1)  
展示会場 (9/30,10/1)

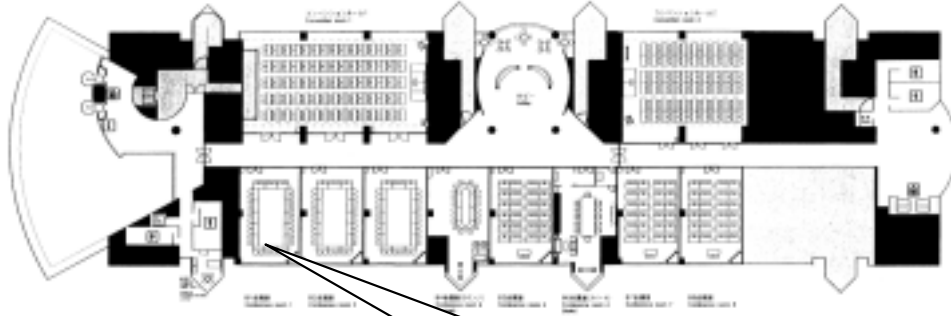
講師控え室 (9/30,10/1)  
学会賞審査委員会 (10/1)

**WTC コスモタワー  
リコリス(48F)**



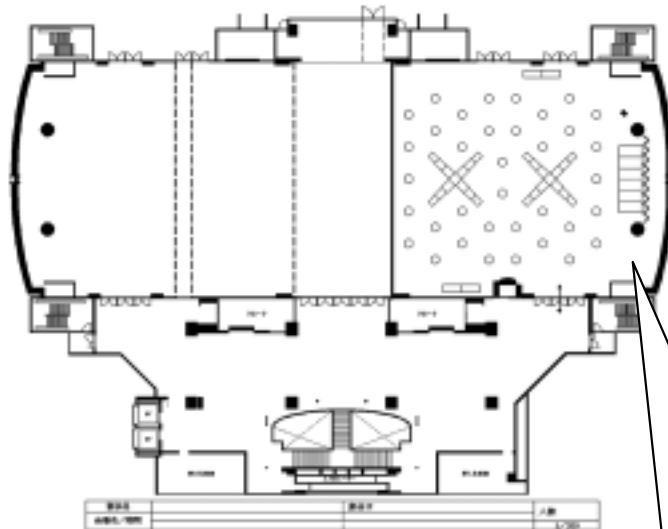
評議委員会 (9/30)  
立食交流会 (10/1)

O's 南館  
B1 会議室 ( 6 F )



あり方委員会	( 9/29 )
編集委員会	( 9/29 )
理事会	( 9/29 )

ハイアット・  
リージェンシー大阪  
( 3 F )



立食交流会	( 9/30 )
-------	----------



## タイムスケジュール

前日 9月29日(木)			学術集会 1 日目 9月30日(金)		
			8:30	開場	
			9:25	会長挨拶	WTC ホール(2F)
			9:30-10:30	シンポジウム 1	WTC ホール
			10:40-12:10	ポスターセッション	大会議室(44F)
			11:50-12:40	評議委員会	WTC・リコリス(48F)
			12:20-13:20	ランチョンセミナー1 (共催)	WTC ホール
			13:40-15:20	ポスターセッション	大会議室(44F)
15:00-16:00	あり方委員会	ATC・O's 棟 南館・ B 1 会議室(6F)	15:30-16:50	シンポジウム 2	WTC ホール
16:00-18:00	編集委員会	ATC・O's 棟 南館・ B 1 会議室(6F)	17:00-18:00	サテライトシンポジウム1 (共催)	WTC ホール
18:00-20:00	理事会	ATC・O's 棟 南館・ B 1 会議室(6F)	18:15-20:00	情報交換会 (共催)立食形式	Regency Ballroom ( Hyatt Regency Hotel ・ 3F )

学術集会 2 日目 10月1日(土)			アルツハイマー病フォーラム・2005 大阪 10月2日(日)		
8:30	開場				
9:00-10:40	シンポジウム 3	WTC ホール			
10:50-12:20	ポスターセッション	大会議室(44F)			
12:00-12:15	学会賞選考委員会	小会議室(44F)			
12:30-13:30	ランチョンセミナー2 (共催)	WTC ホール	12:30	開場	大阪・ 中之島中央公会堂
13:40-14:20	総会(学会賞授与式含む)	WTC ホール	13:00-13:10	開会の挨拶	
14:30-14:50	会長講演	WTC ホール	13:10-14:10	基調講演	
15:00-16:30	シンポジウム 4	WTC ホール	14:30-16:00	パネル討論会 ( テーマ 1 ~ 4 )	
16:30-17:30	サテライトシンポジウム2 (共催)	WTC ホール	16:00-16:05	閉会の挨拶	
17:30-17:35	閉会の辞	WTC ホール			
17:45-19:30	情報交換会 (共催)立食形式	WTC・リコリス(48F)			

## 企画プログラム一覧

### シンポジウム1 <アミロイド分子を制御する>

9月30日(金)9時30分~10時30分

WTCホール

座長：西道隆臣(理化学研究所脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム)  
柳澤勝彦(長寿医療センター アルツハイマー病研究)

1. 岩田修永(理化学研究所脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム)  
“A 分解システムを利用したアルツハイマー病の予防と治療”
2. 森島 真帆(東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻基礎神経医学 神経病理学)  
“セクレターゼはどのようにしてA を産生するか”
3. 樋口真人(放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究開発推進室)  
“生体におけるアミロイド蓄積と神経変性の因果関係を解き明かす試み”

### シンポジウム2 <ワクチン療法と関連免疫療法>

9月30日(金)15時30分~16時50分

WTCホール

座長：秋山治彦(東京都精神医学総合研究所)  
山口晴保(群馬大学医学部 保健学)

1. 秋山治彦(東京都精神医学総合研究所)  
“A ワクチンと神経炎症：an overview”
2. Michael Grundman (Elan Pharmaceuticals, Inc.)  
“Immunotherapy for AD”
3. Dora Games (Elan Pharmaceuticals, Inc.)  
“Current Issues and Perspectives Regarding A $\beta$  Immunotherapy for Alzheimer's Disease”
4. 田平 武(国立長寿医療センター 研究所)  
“新しいワクチン療法”

### シンポジウム3 <前頭側頭葉型認知症(痴呆症)の臨床と病理>

10月1日(土)9時00分~10時40分

WTCホール

座長：池田研二(慈圭病院 精神神経科)  
岡本幸市(群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学)

1. 岡本幸市(群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学)  
“前頭側頭葉型認知症(痴呆症)の臨床と病理 Overview”
2. 池田研二((財)慈圭病院 慈圭精神医学研究所)  
“前頭側頭葉変性症(FTLD)の病理”
3. 川勝 忍(山形大学医学部発達生体防御学 発達精神医学分野)  
“前頭側頭型痴呆の画像診断”

4. **長谷川成人** (東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム)  
“前頭側頭型痴呆症の生化学”
5. **池田 学** (愛媛大学医学部 神経精神医学)  
“前頭側頭型痴呆の臨床”

#### **シンポジウム4 <知っておきたい認知症(痴呆症)の診かた・考え方>**

10月1日(土) 15時00分~16時30分 WTC ホール

座 長: **武田雅俊** (大阪大学大学院医学系研究科 精神医学)  
**荒井啓行** (東北大学大学院医学系研究科 先進漢方治療医学)

1. **武田雅俊** (大阪大学大学院医学系研究科 精神医学)  
“認知症の診かた・考え方 - 展望 ”
2. **宇高不可思** (住友病院 神経内科)  
“アルツハイマー型痴呆(AD)と脳血管性痴呆(VaD)の接点と相違”
3. **葛原茂樹** (三重大学医学部 神経内科)  
“痴呆を伴うパーキンソン病とレビー小体型痴呆”
4. **山田正仁** (金沢大学大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学(神経内科学))  
“BSEと変異型クロイツフェルト・ヤコブ病”

#### **ランチョンセミナー1 - (株)第一ラジオアイソトープ研究所共催 -**

9月30日(金) 12時20分~13時20分 WTC ホール

座 長: **阿部康二** (岡山大学大学院医歯学総合研究科 神経病態内科学)

**松田博史** (埼玉医科大学国際医療センター 核医学)  
“アルツハイマー型認知症(痴呆)の早期画像診断”

#### **ランチョンセミナー2 - 第一製薬株式会社共催 -**

10月1日(土) 12時30分~13時30分 WTC ホール

座 長: **鈴木則宏** (慶應義塾大学医学部 内科学(神経内科))

**荒井啓行** (東北大学大学院医学系研究科 先進漢方治療医学)  
“認知症(痴呆症)の早期診断・予防戦略を考える”

#### **サテライトシンポジウム1 - エーザイ株式会社/ファイザー株式会社共催 -**

9月30日(金) 17時00分~18時00分 WTC ホール

座 長: **小阪憲司** (横浜市立大学 名誉教授)

**Paul Thomas Francis** (King's College London、英国)  
“Therapeutic controversies in Alzheimer's Disease-current and future”

**サテライトシンポジウム2** - ヤンセンファーマ株式会社共催 -

10月1日(土) 16時30分～17時30分 WTC ホール  
座長：西澤正豊(新潟大学大学院医歯学総合研究科 神経内科)

**Rafael Blesa** (Hospital de la Santa Creu i Sant Pau、スペイン)  
“Drug efficacy throughout the spectrum of Alzheimer's Disease”

**会長講演**

10月1日(土) 14時30分～14時50分 WTC ホール  
座長：貫名信行(理化学研究所脳科学総合研究センター 病因遺伝子研究グループ)

**森 啓** (大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経科学)  
“脳病変の分子的意義”

## ポスター発表

44 階 大会議室

### セッション

#### <セクレターゼ(1)>

9月30日(金) 10:40~12:10

座長：西村正樹(滋賀医科大学 分子神経科学研究センター 脳疾患基礎分野)

- A1 セクレターゼ阻害剤 DAPT の細胞内 A $\beta$  に対する影響  
東京大学大学院 医学系研究科 脳神経医学専攻 柳下 聡介  
東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻
- A2 ラット脳膜分画における セクレターゼ様活性の解析  
東京都精神医学総合研究所 精神生物学研究分野 亀谷 富由樹
- A3 内因性 Aph-1 の細胞内分布パターン  
東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学 三條 伸夫
- A4 プレセニリン1 家族性変異による断片化及び セクレターゼ活性への作用  
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 下條 雅文  
東京工業大学 生命理工学研究科 分子生命科学専攻
- A5 プレセニリン依存性膜内蛋白分解による Notch-1 の S3 切断には多様性が存在する  
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室 田上 真次
- A6 ショウジョウバエ細胞を用いた セクレターゼ構成因子及び制御因子の解析  
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学 富田 泰輔

#### <アミロイド(1)>

9月30日(金) 10:40~12:10

座長：鈴木利治(北海道大学 大学院薬学研究科 神経科学分野)

- B1 ソマトスタチンによるネプリライシン活性制御を介した脳内 A $\beta$  分解機構  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 斉藤 貴志
- B2 アルツハイマー病における細胞内蓄積 A $\beta$  の意義とその分解促進薬の探索  
九州大学大学院 医学研究院 神経内科 大八木 保政
- B3 脳内ネプリライシン活性の低下によるシナプス可塑性と学習・記憶能力の障害  
(1): 生化学的および超微形態学的解析  
群馬大学 医学部 保健学科 小久保 秀子  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム
- B4 脳内ネプリライシン活性の低下によるシナプス可塑性と学習・記憶能力の障害  
(2): 電気生理学的解析  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 末元 隆寛
- B5 脳内ネプリライシン活性の低下によるシナプス可塑性と学習・記憶能力の障害  
(3): 行動解析  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 岩田 修永

## < タウ ( 1 ) >

9月30日(金) 10:40~12:10

座長: 高島明彦(理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム)

- C1 タウタンパク質顆粒状凝集体の構造解析とヒト脳における統計学的解析  
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 前田 純宏  
東京工業大学 生命理工学研究科 分子生命科学専攻
- C2 HSP27 はリン酸化タウによる細胞死を抑制する  
東京臨海病院 神経内科 志村 秀樹
- C3 中枢神経における新規タウ蛋白分子種発現の検討  
鳥取大学 医学部 脳神経内科 和田 健二
- C4 生体脳における CHIP/Hsp90/Hsp40 とタウ蛋白代謝との関連性について  
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 佐原 成彦
- C5 タウ蛋白と 14-3-3 蛋白の結合に関するリン酸化の影響  
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学 田中 稔久
- C6 タウオパチー患者脳に蓄積するタウの生化学的解析  
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 長谷川 成人

## < シヌクレイン ( 1 ) >

9月30日(金) 10:40~12:10

座長: 岩坪 威(東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学)

- D1 MMSEと脳血流SPECT検査によるレビー小体型痴呆とアルツハイマー型痴呆の鑑別  
東京医科大学 老年病科 羽生 春夫
- D2 The Characteristic of Alpha-Synucleinopathy in Centenarians  
愛知医科大学 加齢医科学研究所 丁 正同
- D3 レヴィー小体病の、末梢自律神経系の病理評価に、副腎は有用である  
東京都老人総合研究所 老年病ゲノム(神経病理) 文村 優一
- D4 びまん性Lewy小体病大脳新皮質における  $\alpha$ -synuclein と tau の蓄積について  
順天堂大学 脳神経内科 小尾 公美子
- D5 当院入院患者における、レビー小体型痴呆の頻度、臨床的特徴についての検討  
鳥取大学 医学部 脳幹性疾患研究施設 脳神経内科 北山 通朗

## < 酸化ストレス・診断マーカー ( 1 ) >

9月30日(金) 10:40~12:10

座長: 太田成男(日本医科大学 老年病研究所 生化学)

- E1 アルツハイマー病を中心とした髄液中コレステロールの解析  
医療法人さわらび会 福祉村病院 長寿医学研究所 赤津 裕康
- E2 コレステロール代謝変動に起因するミトコンドリア機能障害と神経細胞変性過程  
国立長寿医療センター 研究所 アルツハイマー病研究部 道川 誠

- E3 ミトコンドリア型アルデヒド脱水素酵素活性抑制トランスジェニックマウスにおける中枢神経系の加齢に伴う変性  
日本医科大学大学院 医学研究科 加齢科学系専攻 細胞生物学分野 大澤 郁朗
- E4 アルツハイマー病患者脳におけるミトコンドリア DNA の体細胞変異解析  
日本医科大学 加齢 細胞生物 村上 弥生  
共立薬大 生化
- E5 Two-site ELISA によるアルツハイマー病者髄液中の GIF/MT-3 定量方法の開発  
東京都老人総合研究所 老年病ゲノム T 内田 洋子

## セッション

### < セクレターゼ ( 2 ) >

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：大河内正康(大阪大学大学院 医学研究科 精神医学)

- A1 Alcadin代謝産物 -A1c の性状解析とアルツハイマー病診断マーカーとしての可能性の検証  
北海道大学 大学院薬学研究科 神経科学分野 鈴木 利治
- A2 BACE1 と相互作用する膜タンパク NogoB および RTN3 による A 産生抑制  
国立精神・神経センター 神経研究所 疾病研究第六部 村山 紀代子
- A3 セクレターゼによる APP 切断は neuronal secretory pathway で行われ、可溶性フラグメント sAPP はアストロサイトに豊富に存在する  
群馬大学 医学部 保健学科 小久保 秀子
- A4 Beta subunits of voltage-gated sodium channels are novel substrates of beta-site amyloid precursor protein-cleaving enzyme (BACE1) and gamma-secretase  
Lab for Structural Neuropathology, RIKEN Brain Science Institute Wong Hon Kit
- A5 BACE1 が集積するマウス脳由来膜ラフトの構成蛋白質解析  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 構造神経病理研究チーム 櫻井 隆
- A6 新規 BACE1 阻害剤 KMI-429 によるマウス脳内 A 産生に対する抑制効果  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 岩田 修永

### < アミロイド ( 2 ) >

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：東海林幹夫(岡山大学大学院 医学系総合研究所 神経病態内科学)

- B1 アルツハイマー病患者の髄液は アミロイド形成を促進する  
金沢大学大学院 医学系研究科 脳老化・神経病態学 小野 賢二郎
- B2 Tottori 型(D7N)及びUK 型(H6R)APP 変異は A 凝集の elongation phase を促進する  
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学 堀 由起子
- B3 アルツハイマー病に対する非ウイルス性 DNA ワクチン療法-治療的投与の効果と長期投与における副作用の有無の検討

- 東京都神経科学総合研究所 分子神経病理学部門 松本 陽
- B4 A 42 ラジカルの生成と神経細胞毒性発現機構  
京都大学大学院 農学研究科 食品生物科学専攻 村上 一馬
- B5 アミロイド線維、オリゴマーの毒性機構解析  
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 吉池 裕二
- B6 フィブリルから離散する A の解析  
大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 里 直行  
大阪大学大学院 医学系研究科 老年・腎内科

## < タウ ( 2 ) >

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：浦上克哉(鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学)

- C1 GSK-3 トランスジェニックマウスにおけるタウのリン酸化の検討  
群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科 池田 将樹
- C2 P301S mutant tau transgenic mouse の組織学的、生化学的解析  
国立病院機構 千葉東病院 吉山 容正
- C3 神経原線維変化と神経細胞死を再現する Tau(P301L)マウスの作成  
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 神経病態内科学 瓦林 毅
- C4 リチウム投与の効果 JNPL3 タウ変異トランスジェニックマウスを用いた行動解析  
順天堂大学 脳神経内科 島田 侯陞  
明治薬科大学 大学院薬学研究科
- C5 Niemann-Pick C1 病の原因遺伝子 NPC1 ヘテロ接合体マウスにおける加齢依存的タウオパチーの発症  
国立長寿医療センター 研究所 アルツハイマー病研究部 道川 誠
- C6 タウオパシーモデルマウスにおける IGF-1 の予防・治療効果の検討  
岡山大学大学院 医歯学総合研究科 精神神経病態学 中島 華枝  
三船病院

## < 脳画像 >

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：羽生春夫(東京医科大学 老年病)

- D1 アルツハイマー病における脳萎縮のサブタイプ-特に後部帯状回において  
滋賀医科大学 医学部 脳神経外科 椎野 顯彦
- D2 脳血管性痴呆およびアルツハイマー病における 11C-3-N-methyl-pierizil-benzilate を用いたムスカリン性アセチルコリン受容体の臨床的研究  
秋田県立脳血管研究センター 神経内科 齊藤 博彦
- D3 非典型的脳血流パターンを示すアルツハイマー病：MRI, 髄液マーカー, ApoE フェノタイプの特徴  
金沢大学 大学院 脳老化・神経病態学(神経内科) 野口 もえ子



- D4 AICD with phospho-T668 accumulates in Alzheimer's disease and APP transgenic mice  
東北大学大学院 医学系研究科 病態神経学分野 辛 龍雲
- D5 アミロイドイメージング用 PET プローブ BF-227 の開発  
東北大学大学院 医学系研究科 機能薬理学分野 岡村 信行
- D6 MCI 患者における脳血流 SPECT 画像での統計学的解析を用いた検討  
大阪市立大学大学院 医学研究科 老年内科・神経内科 嶋田 裕之

### <脳血管障害による認知症>

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：高橋慶吉(国立長寿医療センター 研究所 血管性痴呆研究部)

- E1 Binswanger 病の脳室周囲白質における NAA 濃度と NAA/Cr 比の乖離  
武田病院 神経脳血管センター 渡辺 俊之
- E2 CADASIL の微小血管に蓄積する物質の蛋白質科学的解析  
国立長寿医療センター 研究所 血管性痴呆研究部 渡邊 淳
- E3 血管平滑筋細胞における酸化ストレスに対する Notch3 の役割  
国立長寿医療センター 血管性痴呆研究部 吉崎 嘉一
- E4 高齢者を含む無症候性CADASILの存在はNOTCH3遺伝子変異のみで臨床経過が決定しないことを示唆する  
長崎神経医療センター 臨床研究部 近藤 誉之  
福井赤十字病院 神経内科
- E5 オランダ型遺伝性脳出血アミロイドーシスにおけるアミロイド 蛋白  
大阪市立大学大学院 医学研究科 老年医科学大講座 脳神経科学 西辻 和親
- E6 Cerebral capillary amyloid angiopathy, 老人斑と tau 病変との関係について  
都立松沢病院 大島 健一

### <治療・介護(1)>

9月30日(金) 13:40~15:20

座長：玉岡 晃(筑波大学大学院 臨床医学系 神経内科学)

- F1 認知症患者における脳皮質下虚血病変と認知機能および老年症候群との関係  
杏林大学 医学部 高齢医学教室 園原 和樹
- F2 タッチパネル式コンピュータを用いた認知症スクリーニングと介入プログラムの効果  
鳥取大学 総合メディア基盤センター 井上 仁
- F3 要介護高齢者における介護負担感決定要因に関する検討  
杏林大学 医学部 高齢医学 山田 如子
- F4 アルツハイマー病に対するアロマセラピーの有効性の検討(続報)  
鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学 神保 太樹  
鳥取大学 医学部 生命科学科 神経生物学
- F5 認知症(痴呆)疾患および脳卒中後遺症における鬱状態調査  
秋田県立脳血管研究センター 神経内科 長田 乾

- F6 塩酸ドネペジル無効例のアルツハイマー病患者の鉄剤療法（クエン酸第一鉄ナトリウム、  
ビタミンB6、コエンザイムQ10）の効果  
今川クリニック 精神科 今川 正樹

## セッション

### <アミロイド（3）>

10月1日（土） 10:50～12:20

座長：岩田修永（理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム）

- A1 Amyloid beta induces the expression of LGI3 in rat astrocytes  
医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター 疾患制御研究室 木村 展之
- A2 可溶性A $\beta$ オリゴマーは細胞突起に存在し、AD脳およびTg2576マウス脳で軸索終末に多く  
分布するが、lipid raftへの局在は少ない  
群馬大学 医学部 保健学科 小久保 秀子  
老年病研究所附属病院
- A3 アルツハイマー病の脳脊髄液ではアミロイド 40濃度、アミロイド 40/42比、アミロイ  
ド 1-x/42比が高い  
群馬大学 医学部 保健学科 堀越 優子  
免疫生物研究所（IBL）
- A4 Intra-arterially injected microglia accumulate surrounding  $\beta$ -amyloid deposits and  
uptake the peptides in the rat model of Alzheimer's disease.  
滋賀医科大学分子神経科学研究センター Song Yang
- A5 アルツハイマー病におけるA $\beta$  5-40/42の意義  
国立長寿医療センター研究所 血管性痴呆研究部 武田 和也
- A6 M-CSF欠損（op/op）マウス脳アミロイド病変の生化学的解析  
大阪大学 大学院 医学系研究科 精神医学 姜 経緯

### <タウ（3）>

10月1日（土） 10:50～12:20

座長：道川 誠（国立長寿医療センター 研究所 アルツハイマー研究部）

- B1 孤発性タウオパチーの剖検脳におけるタウアイソフォームの免疫組織学  
的検討  
愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理 吉田 眞理
- B2 Immunohistochemical study on tau protein kinase in amyotrophic lateral  
sclerosis/parkinsonism-dementia complex of the Kii peninsula of Japan.  
三重大学 医学部 神経内科 小久保 康昌
- B3 急激な幻覚妄想状態を主徴とした嗜銀顆粒性痴呆の1例  
都立荏原病院 神経内科 長尾 毅彦
- B4 PSP病変の嗜銀性は部位により異なる

- 東京都神経科学総合研究所 神経病理学 内原 俊記  
-B5 N279K 変異を認めた FTDP-17 (frontotemporal dementia and parkinsonism linked to chromosome 17) の 1 例  
大阪市立弘済院附属病院 神経科精神科 中西 亜紀

### < シヌクレイン ( 2 ) >

10 月 1 日 ( 土 ) 10:50 ~ 12:20

座 長 : 岡澤 均 ( 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 神経病理学 )

- C1 シヌクレイン線維化阻害剤の探索と阻害機構  
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 増田 雅美  
首都大学東京大学院 理学研究科
- C2 シヌクレインによるプロテアソーム活性の抑制  
東京都精神医学総合研究所 精神生物学研究分野 分子神経生物学チーム 野中 隆
- C3 微小管重合に与える シヌクレインの影響  
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 笈川 貴行  
首都大学東京大学院 理学研究科
- C4 パーキンソン病における L-dopa 誘発高ホモシステイン血症と認知障害 ,  
精神症状に関する検討  
鳥取大学 医学部 脳神経内科 中曾 一裕

### < 酸化ストレス・診断マーカー ( 2 ) >

10 月 1 日 ( 土 ) 10:50 ~ 12:20

座 長 : 村山 繁雄 ( 東京都老人総合研究所 老年病ゲノム ( 神経病理 ) )

- D1 fM レベル濃度でアルツハイマー病関連神経細胞死を抑制するヒューマニン誘導体コリベリン アルツハイマー病動物モデルに対する効果の検討  
慶應義塾大学 医学部 薬理学 千葉 知宏
- D2 LCA を用いたアルツハイマー病における糖鎖修飾メカニズムの検討  
鳥取大学 医学部 生態制御学 橋本 祐樹
- D3 アルツハイマー病診断マーカーとしての WGA 結合糖タンパク質  
鳥取大学 医学部 生体制御学 谷口 美也子
- D4 Synaptic vesicle turn-over in a mouse Alzheimer's disease model  
東北大学 医学部 先進漢方治療医学講座 古川 勝敏
- D5 ハンチントン病モデルマウスにおけるナトリウムチャンネル 4 サブユニットの発現低下  
理化学研究所 脳科学総合研究センター 構造神経病理研究チ - ム 小山 文隆
- D6 加齢に伴う大脳皮質神経細胞内 RNA の酸化  
旭川医科大学 医学部 精神医学 布村 明彦

### < 治療・介護 ( 2 ) >

10 月 1 日 ( 土 ) 10:50 ~ 12:20

座 長：鳥羽研二（杏林大学 医学部 高齢医学）

- E1 後期高齢期発症のアルツハイマー病の行動心理学的症候の特徴  
国立病院機構 下総精神医療センター 臨床研究部 堀 宏治
- E2 認知症（痴呆症）例の高齢者総合機能評価を用いた縦断解析による「物忘れ外来」の効果  
と課題  
杏林大学 高齢医学 町田 綾子
- E3 認知症予防教室における対象者の判別法と評価法の検討（続報）  
鳥取大学医学部 保健学科 生体制御学 斉藤 潤
- E4 当院もの忘れ外来受診認知症患者の現状調査  
国立長寿医療センター 鷺見 幸彦
- E5 介護専門職はかかりつけ医をどのようにみているか？ よりよい医療と福祉との連携構  
築のために  
筑波大学大学院 臨床医学系 精神医学 谷向 知